

# 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく 白川・緑川の減災に係る取組

令和2年4月

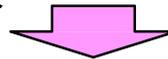
## 白川・緑川 水防災意識社会再構築協議会

熊本市、宇土市、宇城市、嘉島町、甲佐町、御船町、美里町  
熊本県、気象庁熊本地方气象台、九州電力(株)熊本支社、九州旅客鉄道(株)  
国土交通省熊本河川国道事務所、立野ダム工事事務所、緑川ダム管理所

# 大規模減災協議会の設置背景

## 背景

- ・大規模氾濫によって多数の逃げ遅れが生じたH27関東・東北豪雨では、的確な避難勧告の発令や広域避難体制の整備の必要といった課題が明らかに
- ・このような課題に対応するためには、地方公共団体や河川管理者、水防管理者等の多様な関係者が、あらかじめ密接な連携体制を構築しておくことが必要



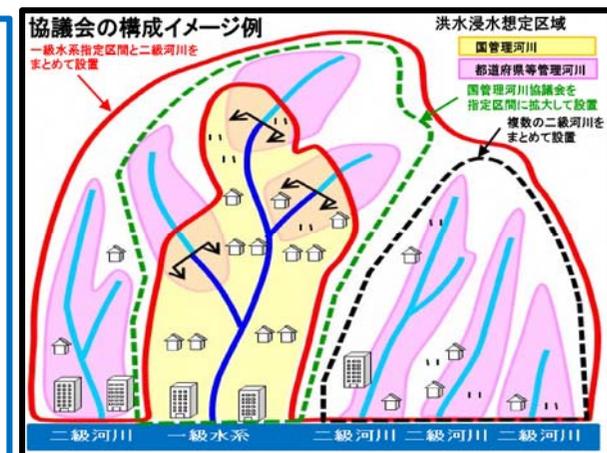
多様な関係者が連携して洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進するため「大規模氾濫減災協議会」制度を創設

## 対象河川

- 大規模氾濫減災協議会は、洪水予報河川又は水位周知河川を対象に組織。
- 国管理河川は大規模氾濫減災協議会の組織を義務づけ。（水防法第15条の9第1項）
- 都道府県管理河川は都道府県の体制など地域の実情も踏まえ組織することができる。（水防法第15条の10第1項）

## 設置単位等

- 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として既に組織又は組織を進めている協議会を法律上の「大規模氾濫減災協議会」へ改組。
- 設置単位は、これまでの協議会と同様に、協議会の構成員となる地方公共団体等の負担を軽減するため、圏域や行政界などを考慮して複数河川をまとめて組織することも可能。
- 水防法に基づき組織された協議会であることを明確にするため、規約に水防法に基づく協議会であることその他、対象河川、構成員等を記載。
- 協議会の名称は「大規模氾濫減災協議会」以外の名称や、既存の協議会の名称を使用することが可能。



## 対象外力

- 被害軽減に資する取組の対象とする外力は、現況施設能力を超える洪水から想定最大規模の降雨による洪水までの氾濫が発生し得る多様な洪水を対象。

# 白川・緑川 水防災意識社会再構築協議会(大規模減災協議会)の設置

- 白川・緑川において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、市町・県・国による協議会を平成29年1月27日に設置。第2回協議会にて、白川・緑川の減災のための目標とその取組方針を策定。
- 第3回協議会では、「広域避難」、「防災教育」、「情報共有」を重点取組方針とし、今後実現に向け関係機関が連携し取り組んでいくことを確認。

## (構成機関)

熊本市危機管理防災総室・河川課、宇土市、宇城市、甲佐町、御船町、嘉島町、美里町、熊本県河川課・危機管理防災課、熊本地方気象台、熊本河川国道事務所、立野ダム工事事務所、緑川ダム管理所

## (協議会での議論)

### 第1回:H29.1.27

- ・現状の水害リスクと取組状況の共有
- ・減災のための目標の確認

### 第2回:H29.2.21

- ・取組方針の策定

### 第3回:H30.2.9

- ・概ね5年間で実施する重点的な取組方針の確認

### 第4回:H31.4.18

- ・今後の重点取組方針(広域避難、防災教育、情報共有)の提示

## 白川・緑川の減災に係る取組方針

[H29.2.21]

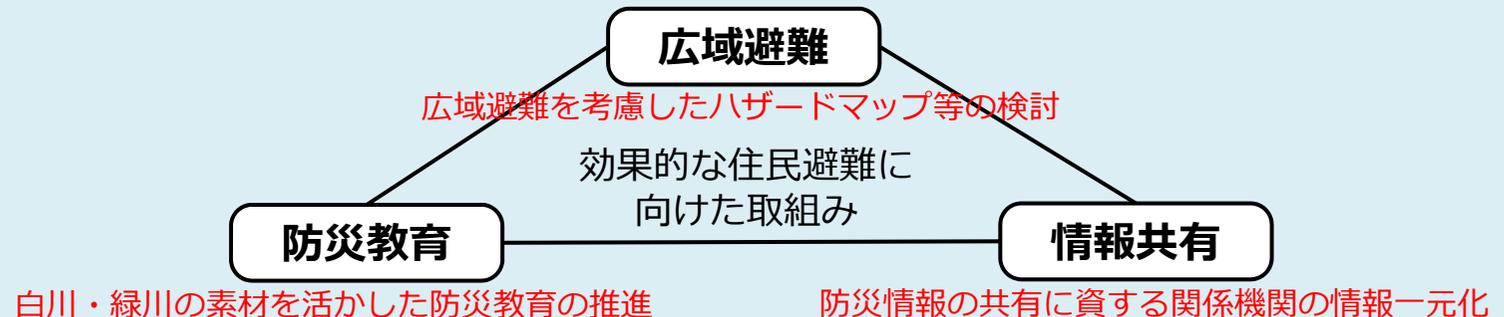
■目 標 『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す

### ■3本柱の取組

- 1)被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び地域コミュニティの活性化による避難体制の構築(※緑川は加えて、「市町境を越えた広域避難体制の構築」)
- 2)地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進
- 3)正確でわかりやすい防災情報の発信

## ■白川・緑川の減災に関する重点取組方針

[H30.2.9]



# 1. これまでの経緯

# これまでの経緯①

平成29年1月27日 【第1回協議会】  
・現状の水害リスクと取組状況の共有 ・減災のための目標の確認

平成29年2月6日 【第1回幹事会】 ・取組方針について

平成29年2月21日 【第2回協議会】  
・減災のための目標に向けた3本柱の取組を決定 ・取組方針の策定

平成29年 3月24日 【第2回幹事会】  
平成29年 6月 1日 【第3回幹事会】  
平成29年12月20日 【第4回幹事会】 ・取組方針の具体化について

平成30年2月9日 【第3回協議会】  
・大規模氾濫減災協議会への改組 ・重点取組方針(広域避難、防災教育、情報共有)提示

平成30年 6月22日 【第5回幹事会】 ・取組状況及び今後の予定について  
平成30年 8月27日 【第6回幹事会】 ・西日本豪雨災害について  
平成30年11月26日 【第7回幹事会】 ・広域避難について  
平成31年 2月12日 【第8回幹事会】 ・取組方針の活動報告について

平成31年4月18日 【第4回協議会】 (水防連絡会・洪水予報連絡会と合同開催)

## これまでの経緯②

平成31年4月18日 【第4回協議会】（水防連絡会・洪水予報連絡会と合同開催）  
・今後の重点取組方針（広域避難、防災教育、情報共有）の提示



令和1年8月8日 【第9回幹事会】 ・緊急行動計画の改訂及び取組状況について  
令和1年12月25日 【第10回幹事会】 ・重点取組方針及び各機関の取組状況について  
令和2年2月12日 【第11回幹事会】 ・重点取組方針及び各機関の取組状況について



中止【第5回協議会】（4月27日開催予定であったが、新型コロナ対応のため、会議資料送付）

<今後の開催予定>

【幹事会】年2回（6月、2月頃）開催予定 『年間の取組予定、取組内容の確認』

## 2. 減災のための目標

# 減災のための目標と取り組み方針(白川)

## 減災のための目標

昭和28年6月や平成24年7月洪水を超える白川の大規模氾濫に対し、経済・産業・人口が集積した熊本市街部において、『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す。

左記目標に向けた3本柱の取組

減災取組

1

白川の大規模氾濫に対し、関係機関が連携し、社会経済・人命への被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び、地域コミュニティ活性化による避難体制の構築

減災取組

2

白川への関心を高めるとともに、白川特有の水害リスクを認識し、地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進

減災取組

3

水位が上昇しやすい熊本市街部において、地域住民や災害時要配慮者の迅速な避難行動、企業の的確な防災活動につながる、正確でわかりやすい防災情報の発信

## 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

関係機関が連携し、洪水氾濫時に社会経済・人命等への被害を最小化するための施設の整備

□ :ハード対策

□ :ソフト対策

□ :重点取り組み方針

避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの検証・見直しや水害対応タイムラインに基づく、訓練の実施

想定し得る最大規模の洪水を踏まえたハザードマップや水防避難マニュアル(仮)の改善・検討及び周知・徹底

水防団(消防団)や住民団体等と連携した実効性の高い水防訓練の実施及び水防体制の強化

大規模出水時における緊急排水計画の策定及び緊急排水に向けた整備・訓練の実施

白川に対する愛着や理解を深めるための学習機会や出前講座等の拡充

洪水リスク・防災意識の啓発・教育

関係機関との確実な情報共有のための緊急連絡体制の確認・強化

誰にでもわかりやすく、正確かつ迅速な情報提供の発信の強化

水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

# 減災のための目標と取り組み方針(緑川)

## 減災のための目標

複数の河川が流れる緑川流域の大規模氾濫に対し、『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す。

左記目標に向けた3本柱の取組

減災取組  
1

緑川の大規模氾濫に対し、関係機関が連携し、社会経済・人命への被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び、地域コミュニティの活性化による避難体制の構築と市町境を越えた広域避難体制の構築

減災取組  
2

緑川の過去の水害や治水の歴史・教訓を継承するとともに、緑川の水害リスクを認識し、地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進

減災取組  
3

特徴の異なる複数の河川が流れる緑川流域において、地域住民や災害時要配慮者の迅速な避難行動につながる、正確でわかりやすい防災情報の発信

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

危機管理型ハード対策

関係機関が連携し、洪水氾濫時に社会経済・人命等への被害を最小化するための施設の整備

:ハード対策

:ソフト対策

:重点取り組み方針

避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの検証・見直しや水害対応タイムラインに基づく、訓練の実施

想定し得る最大規模の洪水を踏まえたハザードマップや(広域避難を考慮した)水防避難マニュアル(仮)の改善・検討及び周知・徹底

水防団(消防団)や住民団体等と連携した実効性の高い水防訓練の実施及び水防体制の強化

大規模出水時における緊急排水計画の策定及び緊急排水に向けた整備・訓練の実施

大規模災害を想定した広域的な連携体制の強化

まちづくりと一体となった水害リスクを低減させる出水前後の対策の検討

水害の歴史や文化の記憶を風化させないための学習機会や出前講座等の拡充

洪水リスク・防災意識の啓発・教育

関係機関との確実な情報共有のための緊急連絡体制の確認・強化

誰にでもわかりやすく、正確かつ迅速な情報提供の発信の強化

水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

### 3. 概ね5年で実施する取組

【令和元年度の取組状況】

- 1) 【白川】 白川の大規模氾濫に対し、関係機関が連携し、社会経済・人命への被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び地域コミュニティ活性化による避難体制の構築
- 1) 【緑川】 緑川の大規模氾濫に対し、関係機関が連携し、社会経済・人命への被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び、地域コミュニティ活性化による避難体制の構築と市町境を越えた広域避難体制の構築

- 河川激甚災害対策特別緊急事業等による出水被害箇所の整備
- 白川の河川改修事業の推進 (R.2整備計画変更)
- 洪水被害の防止又は軽減を図るための立野ダムの建設

【完了】  
【継続】  
【継続】

凡 例	
	河道掘削等
	築堤(嵩上げ・拡幅)
	高潮対策(築堤)
	横断工作物の対策(橋梁・堰 改築等)
	大臣管理区間

整備計画目標の変更点について

○これまでの河川整備の進捗状況や上下流バランス等を考慮し、更なる治水安全度の向上に向けた段階整備として、整備計画目標流量を2,700m<sup>3</sup>/s(年超過確率1/60の規模の洪水)に変更する

<基準地点:代継橋>

H14計画 2,300m<sup>3</sup>/s(河道整備2,000m<sup>3</sup>/s、洪水調節300m<sup>3</sup>/s)

変更原案 2,700m<sup>3</sup>/s(河道整備2,400m<sup>3</sup>/s、洪水調節300m<sup>3</sup>/s)



変更する事業の概要

- 河道の流下能力向上  
河川整備計画目標流量の変更に伴い、流下能力確保のための対策として、河道掘削等・堤防の整備・横断工作物の対策等を実施
- 内水対策  
新たに内水対策の必要性が高まった地区において、適切な役割分担のもとで必要に応じた対策を実施
- 地震・津波対策  
堤防や水門等の河川管理施設の耐震性能を照査し、必要な対策を実施
- 施設能力を上回る洪水を想定した対策  
被害の軽減を図るため、堤防構造を工夫するなどの対策を必要に応じて実施

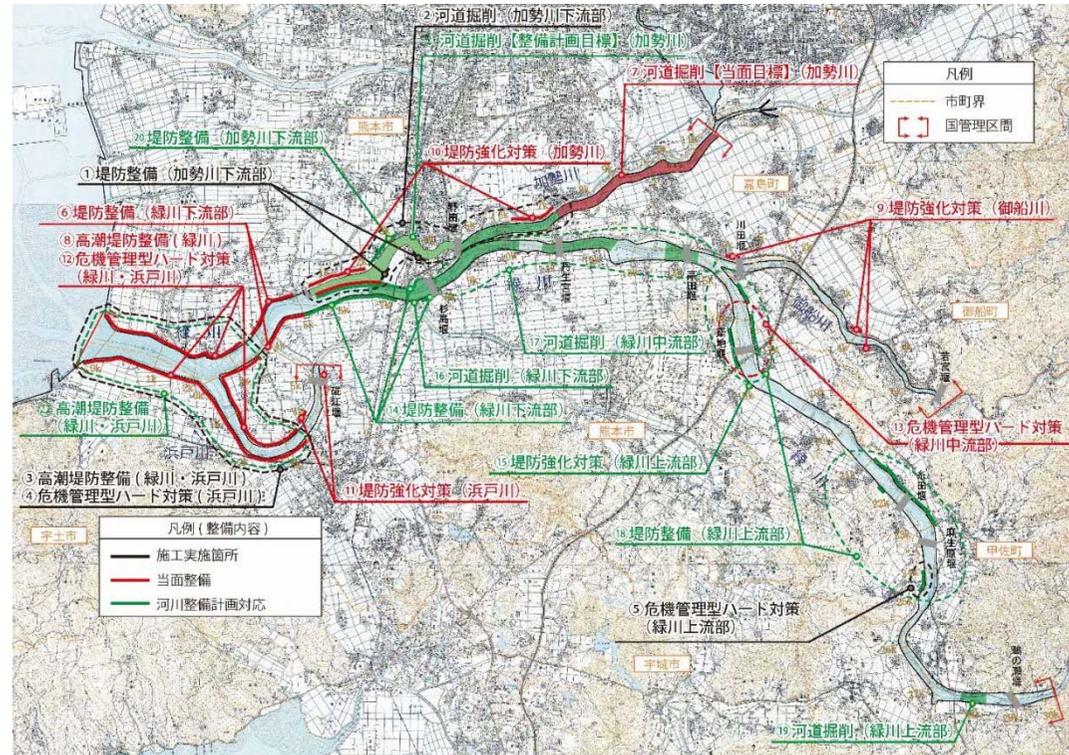
# ハード対策

# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策、危機管理型ハード対策

- 緑川・浜戸川高潮対策事業
- 緑川の河川改修事業の推進
- 堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強等

【継続】  
【継続】  
【継続】

実施段階	種別	箇所	事業内容	施工済み及び施工中の箇所	当面整備	～概ね30年程度
当面の整備	洪水対策	緑川下流部	築堤	→	→	
		加勢川	河道掘削	→	→	
	高潮対策	緑川	高潮対策	→	→	
		浜戸川	高潮対策	→	→	
	危機管理型ハード対策	緑川	天端保護 裏法尻保護	→	→	
		浜戸川	天端保護 裏法尻保護	→	→	
河川整備計画対応	洪水対策	緑川下流部	築堤・堤防整備		→	→
		緑川中流部	河道掘削			→
		緑川上流部	築堤・河道掘削			→
		加勢川下流部	築堤		→	→
		加勢川	河道掘削			→
	高潮対策	緑川	高潮対策			→
		浜戸川	高潮対策			→
堤防の質的対策				→	→	→



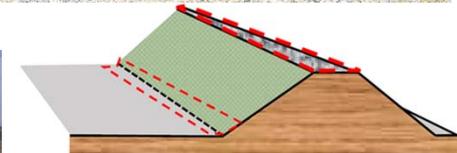
種別	No	地区名	整備内容	種別	No	地区名	整備内容
緊急対応	①	加勢川下流部	堤防整備	⑭	緑川下流部	堤防整備	
	②	加勢川下流部	河道掘削	⑮	緑川上流部	堤防強化対策	
	③	緑川・浜戸川<高潮区間>	高潮堤防整備	⑯	緑川下流部	河道掘削	
	④	浜戸川<高潮区間>	危機管理型ハード対策	⑰	緑川中流部	河道掘削	
	⑤	緑川上流部	危機管理型ハード対策	⑱	緑川上流部	堤防整備	
	⑥	緑川下流部	堤防整備	⑲	緑川上流部	河道掘削	
	⑦	加勢川上流部	河道掘削	⑳	加勢川下流部	堤防整備	
	⑧	緑川<高潮区間>	高潮堤防整備	㉑	加勢川	河道掘削	
	⑨	御船川	堤防強化対策	㉒	緑川・浜戸川<高潮区間>	高潮堤防整備	
	⑩	加勢川	堤防強化対策				
	⑪	浜戸川	堤防強化対策				
	⑫	緑川・浜戸川<高潮区間>	危機管理型ハード対策				
	⑬	緑川中流部	危機管理型ハード対策				



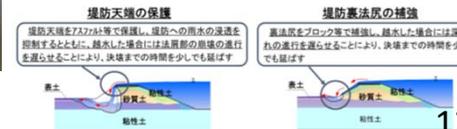
緑川河口・浜戸川 鋼矢板 施工状況



加勢川 河道掘削 施工状況



堤防天端をアスファルト舗装で保護  
堤防裏法尻をブロック等で補強



危機管理型ハード対策 イメージ

# ハード対策

関係機関が連携し、洪水氾濫時に社会経済・人命への被害を最小化するための施設の整備

## ○降雨状況の監視の強化

【継 続】

- 白川、緑川水系の国管理区間において、アドホック水位計を**危機管理型水位計**に12箇所更新し、計21箇所運用。
- 白川、緑川水系の県管理区間において、**危機管理型水位計**を21箇所運用。
- 出水時に危険箇所実位置での水位観測(現状把握)を行うことにより、関係市町へ、より正確な防災情報を提供。



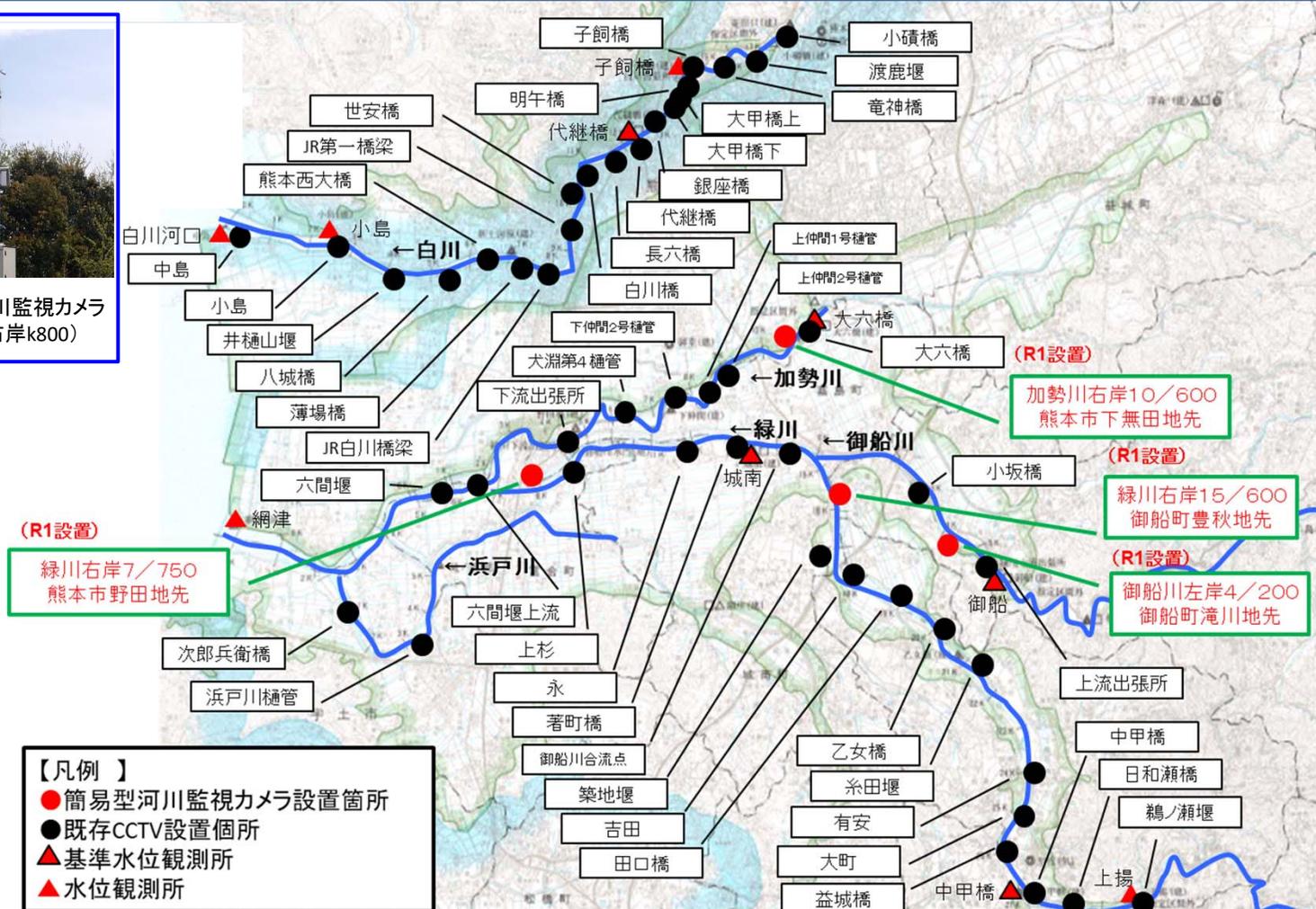
# ハード対策

関係機関が連携し、洪水氾濫時に社会経済・人命への被害を最小化するための施設の整備

## ○降雨状況の監視の強化

【継 続】

- 白川、緑川水系の国管理区間において、簡易型河川監視カメラを新たに4箇所設置。
- 出水時に危険箇所実位置での映像確認(現状把握)を行うことにより、関係市町へ、より正確な防災情報を提供。



■国管理区間内  
市町別設置数  
熊本市:2か所  
御船町:2か所

- 【凡例】
- 簡易型河川監視カメラ設置箇所
  - 既存CCTV設置箇所
  - ▲基準水位観測所
  - ▲水位観測所

# ソフト対策

## 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの検証・見直しや水害対応タイムラインに基づく、訓練の実施

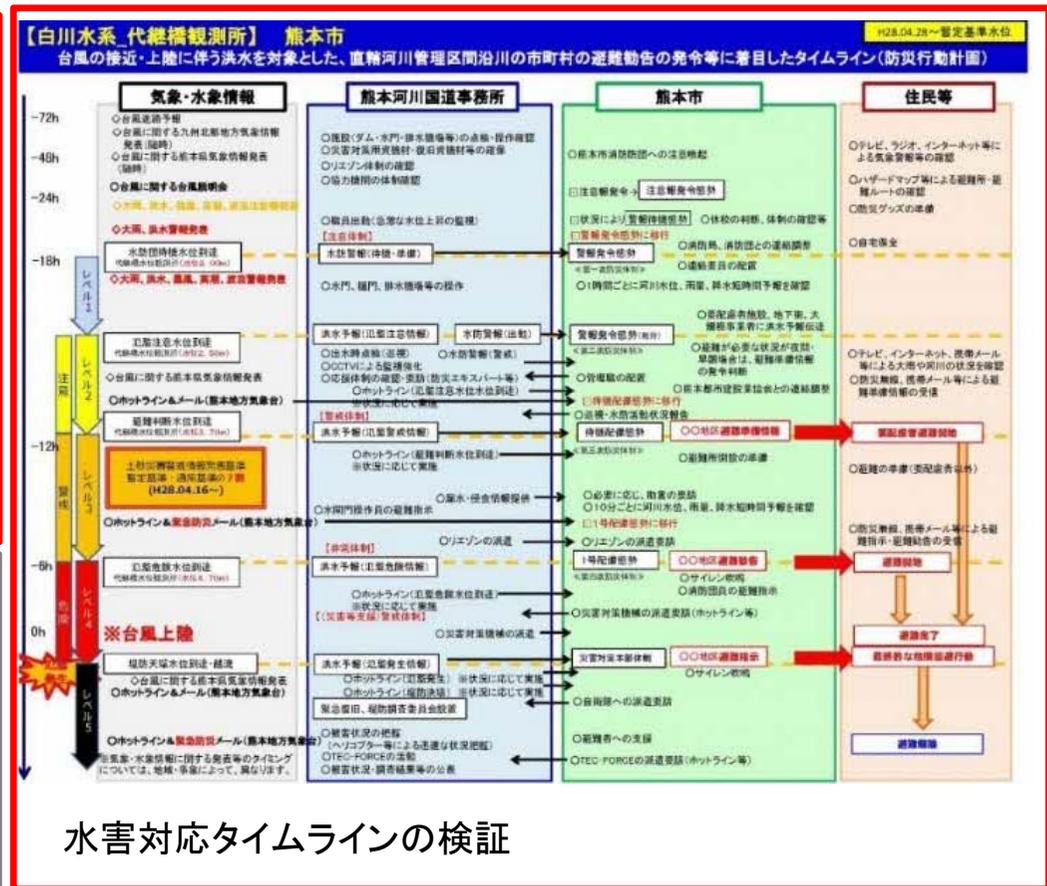
- 実水害や水防避難訓練を踏まえた水害対応タイムラインの検証・見直し
  - 水害対応タイムラインに基づく、関係機関が連携した水防避難訓練等の実施
- 【継続】  
【平成29年度～】



水防避難訓練の実施(R1. 6実施 美里町)



水害対応タイムラインを活用した洪水対応演習  
(白川・緑川洪水対応演習 R1.5.9~10)

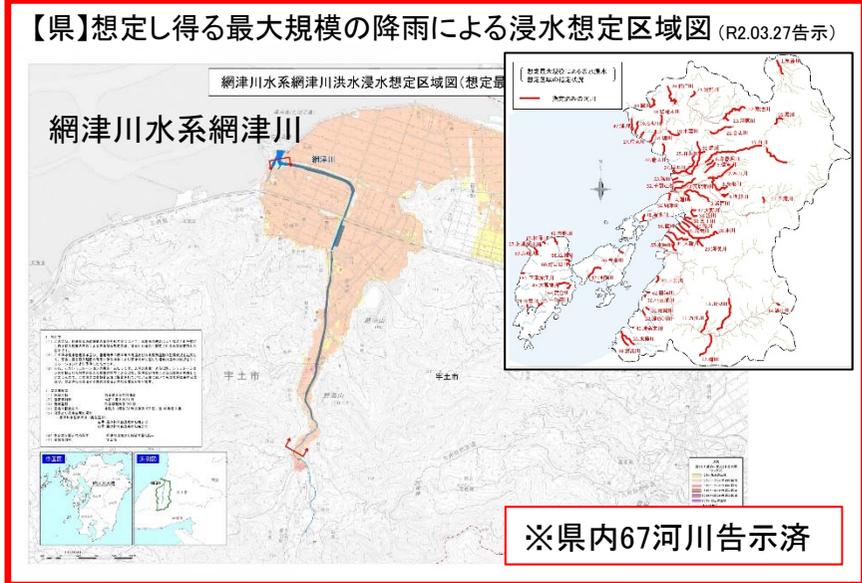
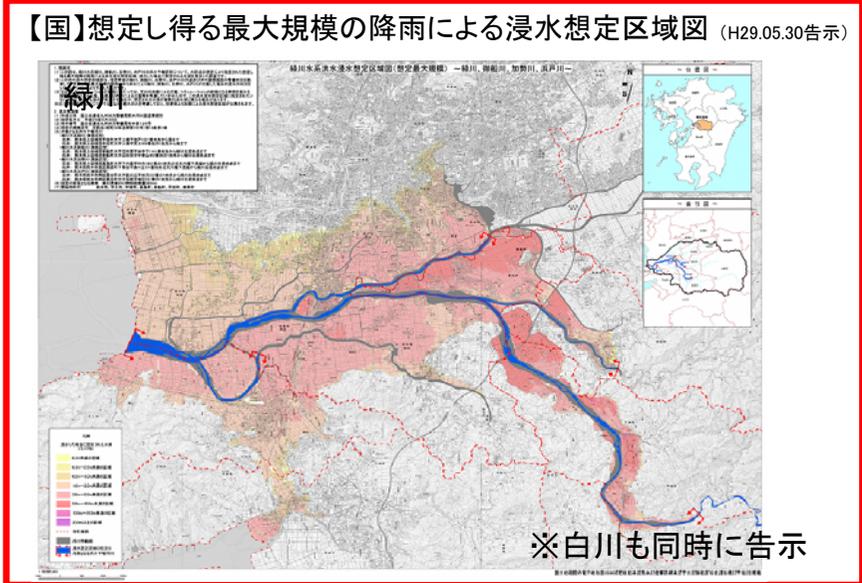


水害対応タイムラインの検証

ソフト対策

想定し得る最大規模の洪水を踏まえた ハザードマップや水防避難マニュアル（仮）の改善・検討及び周知・徹底

- 想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図等の検討及び公表（国及び県） 【継続】
- 想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図に対応したハザードマップの作成【平成29年度～】



想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図に対応したハザードマップの作成

宇土市総合防災マップ(H31.2)

<作成状況>  
熊本市: R1作成 (R2.4公表)  
宇土市: H30作成  
宇城市: 作成中  
嘉島町: 作成中  
御船町: H30作成  
甲佐町: 作成中  
美里町: H30作成

**ソフト対策**

**水防団（消防団）や住民団体等と連携した実効性の高い水防訓練の実施及び水防体制の強化**

- 水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施 **【継続】**
- 自主防災組織、地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検の実施 **【継続】**
- 水防団の人材不足の解消、水防協力団体の募集・指定の促進等の検討・実施 **【継続】**

**水防団（消防団兼務）の募集ポスター・広報**



宇土市・宇城市・美里町



嘉島町



御船町

**共同点検の実施**



白川・緑川重要水防箇所合同巡視(H31.4.25~26)

**関係機関が連携した水防訓練等**



R1.5.19 白川・緑川総合水防演習2019  
(主催:国土交通省九州地方整備局、熊本県、熊本市)



R17.6 熊本市力合西校区住民マイ・タイムライン作成  
(力合西校区防災連絡会・熊本河川国道・熊本市)



R1.10.6 自主防災組織向け防災マップ研修(甲佐町)

○排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水ポンプ車の適切な配置等、緊急排水計画の策定 【平成29年度～】

**白川 排水作業準備計画図**  
 白川では、大規模出水による浸水被害を想定し、浸水時間・範囲を速やかに低減させるために、国・地方自治体等が保有する既存排水施設や排水ポンプ車などを最大限活用することを推進しています。  
 本図は白川水系白川の洪水予報区域(熊本県域)について、水防法の規定に基づいて浸水継続時間を表示した上で、排水活動や防災活動に対しても必要に対応するための施設情報(排水施設・市役所・駅・アンダーパス・緊急輸送道路)を記載したものです。  
 令和元年度

**凡例**  
 ● 夜場  
 ● 警察署  
 ● 消防署  
 ● 病院  
 ● 給油所  
 ● 浄水場  
 ● 下水処理場  
 ● 物資拠点  
 ● 大規模工場  
 ● 第1次緊急輸送道路  
 ●● 第2次緊急輸送道路  
 ● 事務所・出張所  
 ● SA・PA  
 ● アンダーパス  
 ● アクセサルト  
 ● 排水継続時間凡例

**浸水継続時間**  
 ■ 12時間未満の区域  
 ■ 12時間～1日未満の区域  
 ■ 1日～3日未満の区域  
 ■ 3日～1週間未満の区域  
 ■ 1週間以上の区域

**R1実施内容**

- ・高潮時の排水計画作成
- ・排水箇所の追加
- ・施工計画・フロー等作成

**R2実施予定内容**

- ・各排水地点で自治体担当者との現地確認

**①現場到着 (出入口の確認)**

②配車順序

**③ホースの配置**

**④その他 (養生シート)**

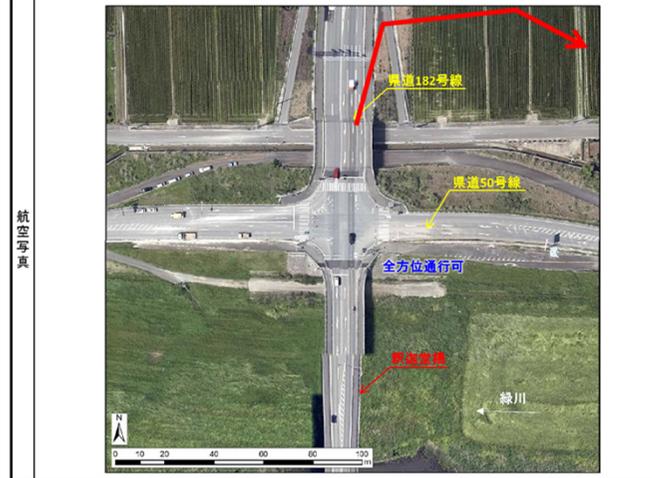
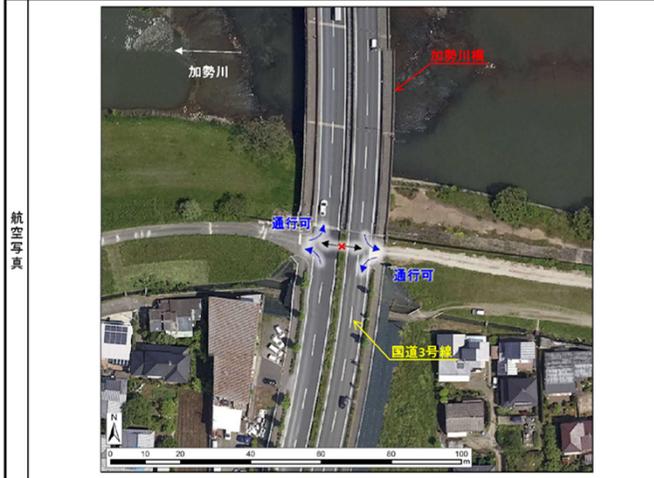
**設置完了 排水開始**

**河川横断イメージ (白川右岸)**

緊急排水準備計画案(詳細図)

○大規模出水時における緊急防災道路等の検討・認定

【平成30年度～】



R1実施内容

- ・緊急輸送道路と堤防天端道路との接続点確認と緊急時の通行方法の検討
- ・緊急防災道路案の作成

R2実施予定内容

- ・施工計画等詳細検討・緊急防災道路案へ反映

緊急防災道路の検討

- 2)【白川】 白川への関心を高めるとともに、白川特有の水害リスクを認識し、地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進
- 2)【緑川】 緑川の過去の水害や治水の歴史・教訓を継承するとともに、緑川の水害リスクを認識し、地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進

ソフト対策

(白川) 白川に対する愛着や理解を深めるための学習機会や出前講座等の拡充

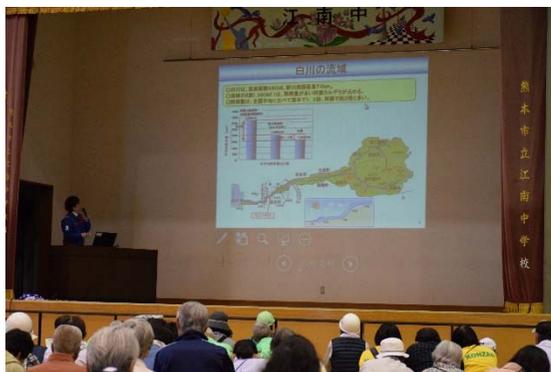
(緑川) 水害の歴史や文化の記憶を風化させないための学習機会や出前講座等の拡充

○小中学校等と連携を図り、白川・緑川についての学習や出前講座等の実施・拡充

【継続】

○白川に対する愛着や理解を深めるための啓発活動の実施・拡充

【継続】



H31.4.20 熊本市向山地住民  
出前講座(熊本河川国道)



R1.11.23隈庄小学校出前講座(熊本県)



R1.8.28嘉島中学校出前講座(熊本河川)



R1.6水防講座(美里町)



R1.6.22~23まちなか防災2019  
(NPO法人白川流域リバーネットワーク)

○教育委員会等と連携を図り、小中学校における  
白川・緑川についての学習・水防災教育等の実施  
○住民団体・NPO等と連携した川の安全な体験活動の普及

【平成29年度～】  
【継 続】

川の安全な体験活動の「場」としての  
普及と利活用の促進

動水圧体験



ライフジャケット浮力体験



学習名：緑川親子流域体験学習  
日時：令和元年8月17日(土)  
場所：加勢川 中無田閘門  
主催：NPO法人 天明水の会

白川水防災体験行事



ゲリラ豪雨体験



水害避難体験(Eポート)

日時：令和元年10月14日(月・祝)  
場所：熊本市中央区本山2丁目地先  
主催：水防災実行委員会  
(国土交通省、熊本県、熊本市)

白川・緑川を題材とした学習プログラムによる試行授業を実施



白坪小学校 (R1.11.2)



御船小学校 (R1.11.7)



小坂小学校 (R1.11.19)



龍野小学校 (R1.10.31)



甲佐小学校 (R1.11.15)



白旗小学校 (R1.10.8)



砥用小学校 (R1.11.11)



嘉島東小学校 (R1.10.15)



走潟小学校 (R2.2.19)

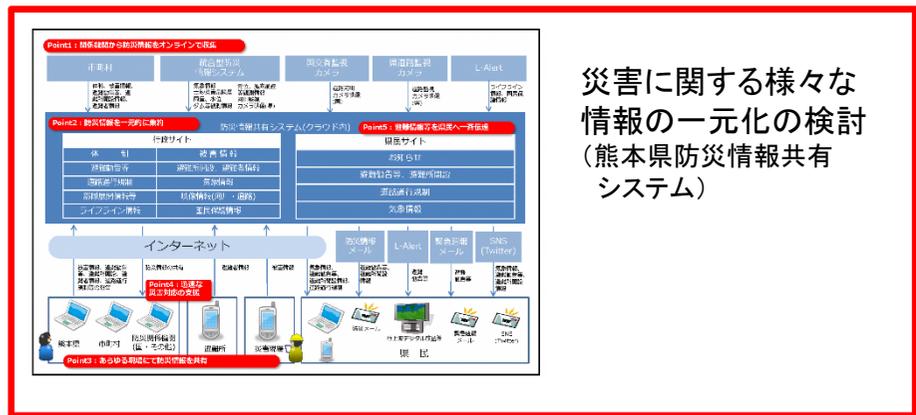
- 3)【白川】水位が上昇しやすい熊本市街部において、地域住民や災害時要配慮者の迅速な避難行動、企業の的確な防災活動につながる、正確でわかりやすい防災情報の発信
- 3)【緑川】 特徴の異なる複数の河川が流れる緑川流域において、地域住民や災害時要配慮者の迅速な避難行動につながる、正確でわかりやすい防災情報の発信



# ソフト対策

## 誰にでもわかりやすく、正確かつ迅速な情報提供の発信の強化

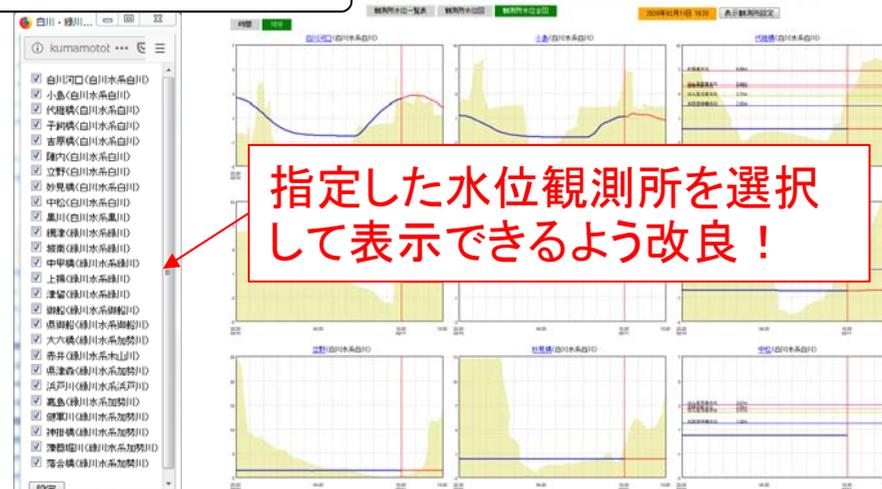
- 携帯端末を活用したプッシュ型情報等の普及・周知 【継続】
- 地域の防災に関する情報の広報誌、ホームページ、大型ビジョン、  
庁舎掲示板、観光案内所等への掲載促進 【平成29年度～】
- 関係機関が提供する防災情報を一元的に集約した情報ツールの検討・整備 【平成29年度～】
- 報道機関を通じた避難情報等において 【平成29年度～】
- 確実な住民の行動を促すための情報提供の方法の検討・実施



# 河川の防災情報提供の取り組み（白川緑川防災情報提供システムの改良）【国】

○関係機関が提供する防災情報を一元的に集約した情報ツールの検討・整備 【平成29年度～】  
 ※河川の防災情報の提供に特化した情報提供ツールとして、白川緑川防災情報提供システムを構築・運用。R1年度は、水位の表示機能やCCTV再生機能、データ共有機能を改良。R2年度は、危機管理型水位計のデータ取り込み・表示機能を追加予定。

## 河川水位の情報提供



指定した水位観測所を選択して表示できるよう改良！

## データ共有

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所  
白川・緑川防災情報提供システム

保存

操作	ID	観ID	テキスト	削除	アップロード	ファイルリスト
<a href="#">↑</a>	1	#	01_指導計画	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	4	1	01_社会	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	5	1	02_理科	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	7	#	02_教養計画	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	6	2	01_社会	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	7	2	02_理科	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	3	#	03_教材	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	8	3	01_社会	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	9	3	02_理科	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	10	3	01_共通教材	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	11	10	01_白川川辺基の動画	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	12	10	02_緑川川辺基の動画	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	13	10	03_AR	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	14	10	04_大型ビジョン動画	削除	アップロード	URL
<a href="#">↑</a>	16	11	テスト	削除	アップロード	URL
追加	17	#				

## CCTVカメラの再生機能

表示時刻 2020/02/11 09:30 再生 停止  
 基準時刻 2020/02/11 10:10 期間 3時間 更新間隔 10分 100(+)ms 設定保存



指定した期間の過去画像を連続再生可能！

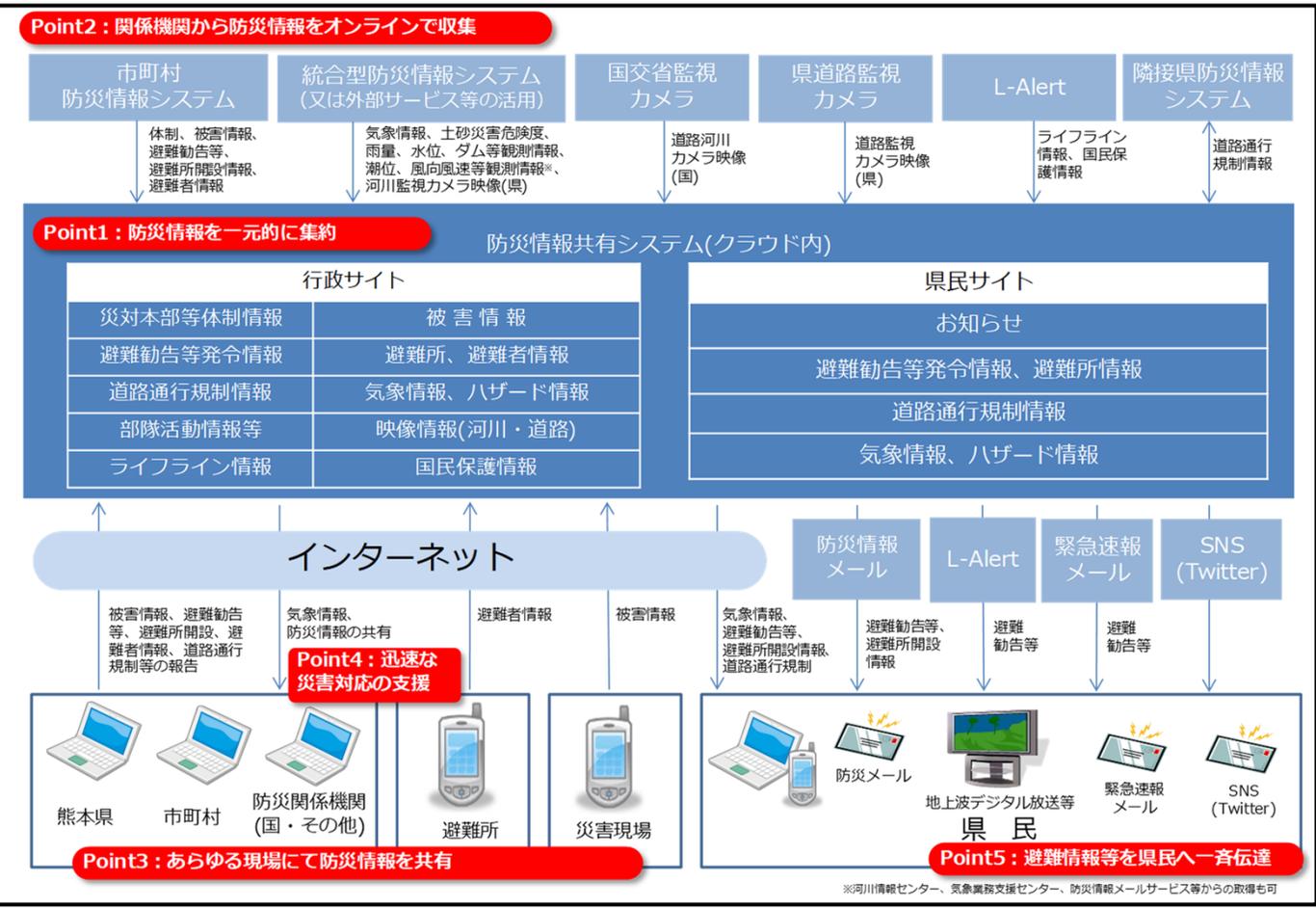
関係機関でデータをアップロードできるよう改良！

# 河川の防災情報提供の取り組み（県防災情報共有システムの構築）【熊本県】

○関係機関が提供する防災情報を一元的に集約した情報ツールの検討・整備 【平成29年度～】  
 ※熊本県にて新たに熊本県防災情報共有システムを構築

情報共有の遅れや防災関係機関との連携不足、断片的な情報による全体状況の把握の困難などが課題  
 ⇒ 新たな防災情報共有の仕組みとして「熊本県防災情報共有システム」を構築

項目	平成29年度	平成31年度	平成32年度～
① 防災情報共有システム整備検討	■	■	■
② 予算編成	■	■	■
③ 防災情報共有システム構築		■	■
④ 運用			■

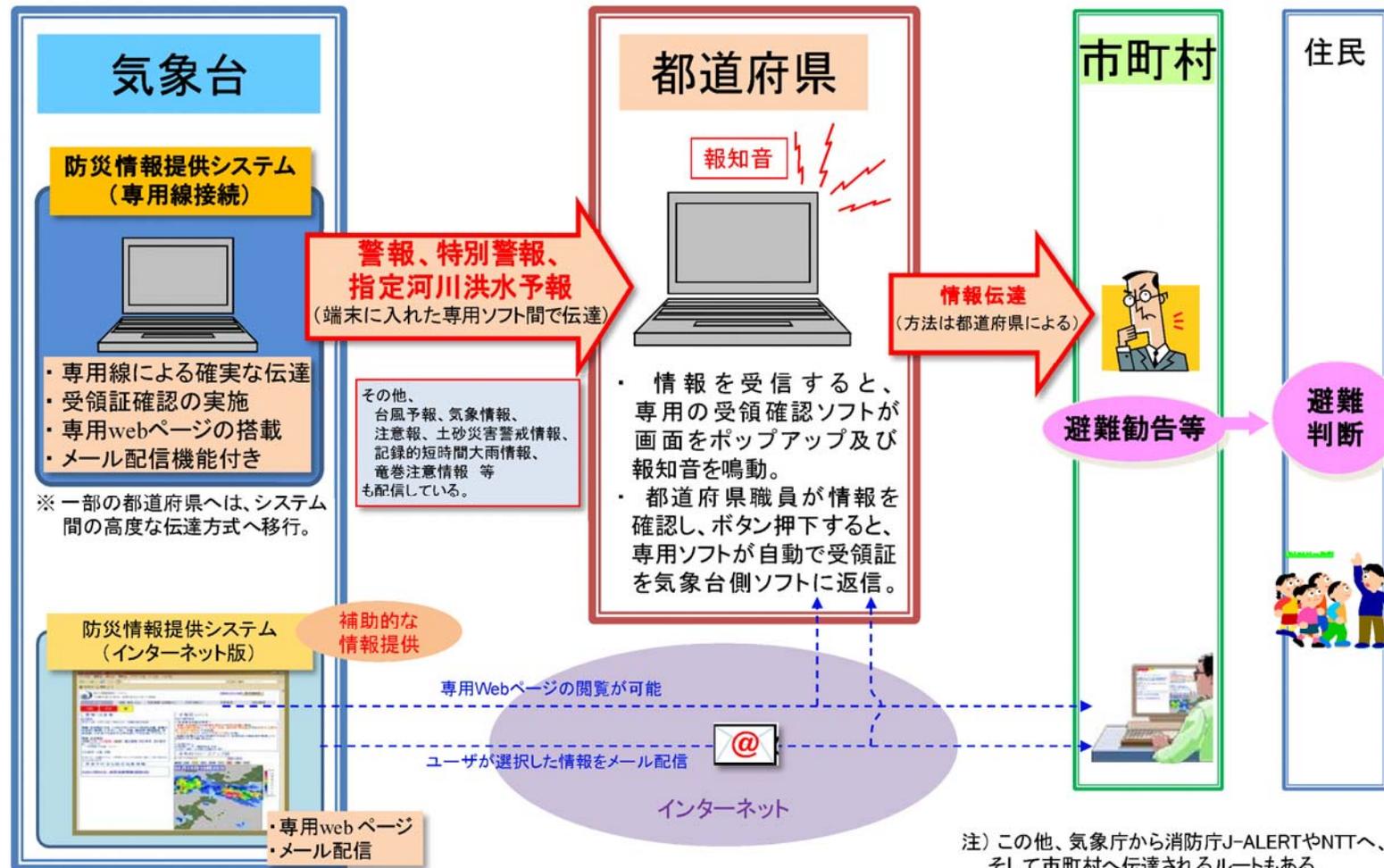


# 河川の防災情報提供の取り組み（気象台防災情報提供システム）【気象台】

- 関係機関が提供する防災情報を一元的に集約した情報ツールの検討・整備 【平成29年度～】
- ※気象台防災情報提供システムにより、引き続き河川を含むさまざまな気象・防災情報を提供。

## 気象庁の防災気象情報の伝達（気象台から都道府県）

気象庁から都道府県へ伝達。都道府県は市町村へ伝達。



# 河川の防災情報提供の取り組み（防災情報の一元化リンク集の作成）【国交省】

○関係機関が提供する防災情報を一元的に集約した情報ツールの検討・整備 【平成29年度～】  
 ※防災情報を一元化したリンク集をH30に作成・共有。引き続き活用を図りながら、必要に応じ改良。

## 白川緑川水防災意識社会再構築協議会 防災情報の一元化リンク集

2018.11.26時点

※協議会メンバーで共有

	気象情報	台風情報	潮位情報	雨量情報	レーダ雨量	水位情報	土砂災害危険情報	ダム情報	CCTVカメラ	浸水想定ハザードマップ	避難所情報
<b>国土交通省</b>											
川の防災情報	○		-	○ (国、県)	○ (XRAIN, Cバンド)	○ (国、県)	-	○ (国、県)	○ (国、県(一部))	-	-
<b>気象庁</b>											
ホームページ	○	○	○	○ (アメダス)	○(高解像度) ○(降水予報)	○(浸水害) ○(洪水危険度)	○(土砂災害警戒)	-	-	-	-
気象庁 防災情報提供システム	○(ログイン)	○(ログイン)		○(ログイン)	-	-	-	-	-	-	-
<b>熊本河川国道事務所</b>											
ホームページ	○	-	-	○ (国、川の防災リンク)	-	○ (国、川の防災リンク)	-	○ (緑川ダムHP)		○ 自川 ○ 緑川	-
熊本河川国道事務所 防災情報提供システム	○(ログイン)	-	○(ログイン)	○(ログイン) (国)	○(ログイン) (Cバンド、予測)	○(ログイン) (国予測、県)	-	○(ログイン) (緑川ダム、予測)	○(ログイン)	○(ログイン)	-
<b>熊本県</b>											
統合型防災情報システム	○	-	-	○ (国、県)	○ (Cバンド)	○ (国、県)	○(土砂災害警戒判定メッシュ)	○ (県)	○ (県)	-	-
<b>熊本県</b>											
熊本県防災情報メールサービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
<b>熊本市</b>											
防災サイト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
<b>宇土市</b>											
防災情報メール配信サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
<b>宇城市</b>											
ホームページ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
<b>喜島町</b>											
ホームページ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
<b>御船町</b>											
ホームページ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
<b>甲佐町</b>											
ホームページ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
<b>美里町</b>											
ホームページ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
<b>国土交通省</b>											
川の水位情報	-	-	-	-	-	○(危機管理型水位計)	-	-	-	-	-
<b>国土交通省</b>											
浸水ナビ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
<b>国土交通省</b>											
ハザードマップポータルサイト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

○出水期前に水防団等の関係機関との連絡体制の確認や大規模な浸水の発生を前提とした演習の実施

【継 続】

防災訓練、水防演習の実施



宇城市総合防災訓練(R1.5.12)



甲佐町総合防災訓練(R1.11.23)